

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-238211 (P2003-238211A)

【公開日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)

【出願番号】特願 2002-32245 (P2002-32245)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 3 C 25/10

C 0 8 J 5/08

D 0 6 M 15/263

D 0 6 M 15/285

// C 0 8 L 101:00

D 0 6 M 101:00

【F I】

C 0 3 C 25/02 N

C 0 8 J 5/08 C E R

C 0 8 J 5/08 C E Z

D 0 6 M 15/263

D 0 6 M 15/285

C 0 8 L 101:00

D 0 6 M 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 8 日 (2005.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ガラス繊維集束剤用エマルション、その製造方法、ガラス繊維集束剤、及びガラス繊維束

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(メタ)アクリル系重合体粒子と、(メタ)アクリルアミド単位を含有する水溶性重合体とを含むガラス繊維集束剤用エマルション。

【請求項 2】

(メタ)アクリルアミド単位を含有する水溶性重合体の存在下で、少なくとも(メタ)アクリル系単量体を重合することを特徴とする請求項 1 記載のガラス繊維集束剤用エマルションの製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載のエマルションを含むガラス繊維集束剤。

【請求項 4】

請求項 3 記載のガラス繊維集束剤を付与して形成されたガラス繊維束。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】